



フードロス削減と防災教育に活用  
市内 12 の小中学校に災害時備蓄品を配布します



ターゲット 13.1

2026 年 3 月 2 日

郡山市総務部

防災危機管理課

課長 熊田 重美

TEL : 924-2168

SDGs ターゲット 13.1 「すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭化（レジリエンス）及びその適応の能力を強化する。」

東日本大震災から15年を経過するにあたり、災害への備えの大切さを再認識する機会の創出とともに、家庭備蓄の推進などの防災意識の向上や、フードロス削減及びサーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進を図るため、賞味期限の近い災害時備蓄品を小中学校に配布します。

今後においても、これまでの配布実績及び被災状況等を踏まえ、計画的に配布してまいります。

1 配布物 災害時備蓄品（野菜がゆ） 2,350 食

2 配布学校（12校）

小学校 （8校）	安積第一小学校、安積第二小学校、安積第三小学校、穂積小学校、三和小学校、多田野小学校、多田野小学校堀口分校、河内小学校
中学校 （4校）	安積中学校、安積第二中学校、三穂田中学校、逢瀬中学校

3 配布対象者 全児童及び全生徒

4 取材申込等

児童及び生徒への配布、学校独自の防災講話の取組等への取材等については、各学校まで直接お問合せ願います。

[参考] 過去3年間の備蓄食料等の購入実績

年度	品目	購入実績額（千円）
2025年度	レトルトご飯、クッキー等	5,869
2024年度	レトルトご飯、クッキー等	3,621
2023年度	レトルトご飯、クッキー等	5,922